



教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課マスコットキャラクター しえん君

教育支援課 研修・研究グループ

1

プログラミング教育の実施に向けて

今年度は、奈良女子大学の駒谷教授から、「なぜプログラミングが必要か」を学ぶ理論編、実際に教員がプログラミングを体験する実践編の2つの研修会を開催しました。また、2学期には、内部東小学校を会場に三重大学の須曾野教授による5年生のプログラミング学習の示範授業を行いました。参加者からは「校内にも還元して学校全体で進めることができるようにしていきたい。」「スクラッチを使うことの有用性や指導方法を学ぶことができた。」等の感想が聞かれました。



須曾野教授による示範授業

2

四日市調べ学習お役立ちリンク集について

四日市市立教育センターホームページに四日市の地域資源や各種団体・施設のホームページにつながるリンク集を開設しています。出前授業等で学校の教育活動に協力していただいている企業や、富田の一里塚跡、四日市市文化会館など、四日市市の各種施設のホームページにつながるリンク集です。是非、調べ学習などにご活用ください。

四日市調べ学習お役立ちリンク集をクリックすると、地域資源等が表示されます。

The screenshot shows the website's main page with a menu on the left and a central content area. A pink box highlights the link '地域資源を生かした教育の推進' (Promoting education by utilizing local resources) under the '四日市ならではの教育' (Education unique to Yokkaichi) section. A blue box highlights the link '四日市調べ学習お役立ちリンク集' (Link collection for Yokkaichi research learning) in the right sidebar. A green callout box with an arrow points from the text above to the highlighted link in the sidebar.

研究報告

平成30年度、教育支援課で取り組んできた研究を報告します。それぞれの研究にあたり、御協力いただきました先生方及び学校・園、関係機関に心よりお礼申し上げます。この研究の成果が、今後の学校・園での実践に広く活用されることを願います。

第407集

研修・研究グループ 研修員 寺家 佳織

自ら考え、議論する道徳の指導に関する研究 － 意見や議論の可視化に重点をおいて －

意見や議論を可視化させながら考え議論する道徳の授業を展開することが、多面的・多角的な思考を促すとともに、道徳的価値「相互理解、寛容」の理解を深めることにつながるかを検討しました。

教科書に掲載されている読み物教材を取り上げ、教科書下段に提示されている「考える投げかけ」を用いた問題解決的な学習の授業を展開しました。個人思考の場面では、道徳ノートや個人用ホワイトボードに個人の思考を記述させ、議論した後の思考と比較するときに活用させました。さらに、議論する場面では、ウェビング法やそれを発展させた方法を用いて、班用のホワイトボードに意見を可視化させました。可視化させることで、課題について多面的・多角的に考えさせることと、相互参照の中で自分の思考をより深めることを目指しました。

意見や議論を可視化させたことで、子どもたちは、課題を多面的・多角的に捉え、個人思考に相互参照から得た考えを統合し、順序立てて発言する姿が見られました。また、他者の意見を取り入れながら自分の意見を整理する中で、「相互理解、寛容」の価値を理解し、自己を見つめながら振り返り文章を書く姿につながりました。

【子どもたちの感想】

- ・他の人と意見を交流できて、新たな視点から考えることができた。そして他の人の意見に共感して自分の意見とつながると、少し嬉しかった。
- ・人それぞれで意見が違って、その違う意見を理解することも、とても楽しかった。



執筆者からの一言

意見や議論を可視化することは、子どもたちにとって意見に広がりを持たせることができたり、納得できたり、考えを共有したりする助けになったりしていることが分かりました。また、意見や議論を可視化させることで、子どもたちが授業を主体的に取り組むきっかけとなり、可視化したホワイトボードをもとに対話が生まれ、課題を解決していくと学ぶ姿が見られました。



第408集

研修・研究グループ 長期研修員 山田 裕美

中学校数学科における問題解決能力向上のための授業づくりに関する研究 － フィードバックに重点をおいて －

関数の学習で問題解決能力を高めるために、知識・技能を主な目的とした部分では、毎時間小テストに取り組み、自己採点によるフィードバックを行うことで、多くの生徒が一定レベル以上になることを目指しました。思考・判断を主な目的とした部分では、毎時間の小テストで学級ごとにフィードバックの方法を下表のように変え、どのようなフィードバックが効果的かを検証しました。数学に対する意識に与える効果も検証しました。

自己採点によるフィードバックを行うことで、多くの生徒が関数に関する知識・技能の定着を図ることに一定の効果がありました。また、相互採点によるフィードバックは基礎的な内容の習得に有効であり、自己採点によるフィードバックは応用的な力を高めることに有効である傾向が見られました。

加えて、相互採点や自己採点によるフィードバックは問題解決能力の高まりに寄与することも明らかになりました。さらに、知識・技能の定着を図ったことで、数学に対する肯定的な意識の高まりもみられました。

方法	内容
相互採点	隣同士で答案用紙を交換し、模範解答を見ながら採点する。その後、生徒同士で教え合ったり、聞き合ったりできる共有の時間を設ける。つまづきが多い問題は、教師が全体に解説する。
教師採点	答案用紙を回収し、模範解答を配る。採点は教師が行い、次時の授業の最初に返却する。
自己採点	模範解答を見ながら、自分で採点する。



執筆者からの一言

フィードバックの効果とは、「自己の到達状況を知ることができる」→「次に行うべきことが明確になる」と考えられます。

今後は、生徒の実態や問題の特質によって、フィードバックの方法を工夫することで、学習の効果をより上げることにつなげていきたいと考えています。





各研究の詳しい内容は、教育支援課までお問い合わせください。また、四日市市立教育センター・視聴覚センターのホームページで、閲覧・ダウンロードをして頂けます。
(下記をご参照ください)

第409集

四日市市適応指導教室

指導員 鳥居 かおり 北保 絵美 宮崎 久美

小学校における不登校の未然防止に関する一考察

－ 日常場面に生かすストレスマネジメント教育を通して －



執筆者からの一言

29年告示の新学習指導要領でも保健体育の「心の健康」の分野に「不安や悩みへの対処」という項があります。保健体育の「心の健康」の分野で、今回の研究で取り扱った内容を是非参考にしてみてください。

また、YESnetの出前授業もご活用ください。



ストレスマネジメント教育は、保健体育の「心の健康」の分野で取り扱う内容です。不登校を未然に防止するために、小学校でストレスマネジメント教育の授業を2時間実施しました。(1時間目は、YESnetの出前授業を利用)授業を行った結果、次のような成果がありました。

- ① ストレスマネジメント教育の授業は、小学6年生にも十分理解できる内容であり、授業によってストレス軽減に効果があった。
- ② 授業後の感想は、「ストレスのしくみや対処法がよくわかった」「日常場面でも学習したことを実践したい」など、前向きな感想がほとんどで、アンケート結果も肯定的な回答が多かった。
- ③ 授業後に、「ストレスチェックシート」を使用して、1カ月間学習した内容を日常場面でも活用した児童は、さらにストレス軽減に効果があった。

※今回の2時間の授業で、ストレスマネジメント教育の授業は、児童のストレス軽減に効果があることがわかりました。しかし、中には、授業後もストレスに対処するスキルが身につけにくく、ストレスが軽減されない児童もいました。授業により、全体的に児童のストレスに柔軟に対応できる力をつけていくとともに、スキルが身につけにくい児童を抽出し、継続的に支援していくことで、不登校の未然防止につなげることが出来るのではないかと考えられます。

「研究報告」を活用しよう！

上述の「研究報告」の詳細は、四日市市立教育センター・視聴覚センターのホームページ(「文書等ダウンロード」のページ)で、ご覧頂けます。また、今夏の教職員研修講座で研究報告を行います。ご参照頂き、日々の実践にご活用願います！



研究年度	研究番号	課題・内容
平成30年度	第409集.pdf	小学校における不登校の未然防止に関する一考察
	第407集.pdf	中学校数学科における問題解決能力向上のための授業づくりに関する研究
	第407集.pdf	自ら考え、議論する道徳の指導に関する研究
平成29年度	第406集.pdf	平成30年度研究調査報告 第407集～第409集 概要
	第405集.pdf	不登校生徒への初期対応と校内無制についての研究
	第405集.pdf	小学校外国語科における「話すこと(やり取り)」の能力を高める研究
平成28年度	第404集.pdf	小学校体育科における「身体的な学習」の活性化に関する研究
	第403集.pdf	不登校を未然に防止するための対処支援の研究
	第403集.pdf	小学校数学科における「数論的な学び」の活性化に関する研究
平成27年度	第402集.pdf	小学校体育科における「身体的な学習」の活性化に関する研究
	第401集.pdf	平成28年度研究調査報告 第401集～第403集 概要

平成31年度夏季教職員研修講座に注目！研究報告を行います！

日時・場所	内容
平成31年7月31日(水) 9:30～12:00 (総合会館7階第1研修室)	不登校対策研修会(担当者研修会)にて 小学校における不登校の未然防止に関する一考察 － 日常場面に生かすストレスマネジメント教育を通して － 四日市市適応指導教室 指導員 鳥居 かおり
平成31年8月9日(金) 9:00～10:30 (塩浜中学校)	研究発表 中学校数学科における問題解決能力向上のための授業づくりに関する研究 － フィードバックに重点を置いて － 教諭 山田 裕美
平成31年8月9日(金) 14:00～17:00 (総合会館7階第1研修室)	研究発表・講演 自ら考え、議論する道徳の指導に関する研究 － 意見や議論の可視化に重点を置いて － 教諭 寺家 佳織/愛知県一宮市立浅井中学校 校長 山田 貞二



知っていますか？ YESnet

Yokkaichi Early intervention Service network

YESnet（四日市早期支援ネットワーク）とは、子どもたちのこころの健康と病気の予防・早期支援・より良い回復を目的としたネットワークです。

【ネットワーク参加機関】

- ・医療 総合心療センターひなが等
- ・保健 四日市市保健所 保健予防課
- ・福祉 こども未来部 こども発達支援課
- ・教育 四日市市教育委員会
教育支援課・指導課・学校教育課



1. こころの健康と病気の予防のために YESnet スタッフが出前授業を行います。



総合心療センターひながの看護師や精神保健福祉士、保健所の保健師が、ストレスケアの授業を行っています。小学生に向けて、こころの健康を保つために、自分なりのストレス解消法を見つけ、ストレスとうまく付き合っていくことが大切であることを伝えます。中学生に向けては、小学生の内容に加えて、良くない状態が続いたら相談する大切さと相談先を伝えます。

2. 早期支援・より良い回復のために YESnet スタッフが先生方と共に子どもの対応を考えます。

学校現場の困り感として、「医療的な支援が必要かどうか分からない。」という声をよく聞きます。そのような悩みについて、保健所、総合心療センターひなが、こども未来部、教育委員会と一緒に考えていく場が YESnet ケース会議です。子どもの状態を把握し、医療機関の受診が必要か、学校としてどのような支援ができるのか、他の専門機関につなげた方がよいか等について話し合います。



出前授業、ケース会議等については、教育支援課までご相談ください。